

Data (2023年10月現在)

所在地 〒226-0015
神奈川県横浜市緑区三保町1番地

スタッフ 山口智美(教授)、近藤仁美(講師)、
久保木紀子(講師)、村上亜紀(助教)

URL <http://www.soei.ac.jp/>



左から山口、近藤、久保木、村上

横浜創英大学看護学部

地域・在宅看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

横浜創英大学は、1989(平成元)年開学の横浜創英短期大学を前身として、2012(平成24)年に4年制大学として開学しました。看護学科は、短大時代の2007(平成19)年に開設され、大学では看護学部看護学科となっています。大学の教育理念は、建学の精神『「考えて行動のできる人」の育成』に則り、科学的思考に基づく判断力を持ち、人間に対する多面的な理解と専門的な知識・技能を身に付け、地域社会に貢献できる人材を育成することです。看護学部看護学科は、1学年定員80名、保健師課程と養護教諭課程を選択制で設け、定員はそれぞれ20名です。

Education

どのような教育をしていますか？

研究室は、2023(令和5)年度に「公衆衛生看護学領域」と「在宅看護領域」を改組し、「地域・在宅看護学領域」となりました。看護師課程の学生の地域をみる視点を養うため、2017(平成29)年度から学生に自分の居住する地域の地区踏査を行ってもらい、地域と生活の関係を考えさせる授業をしています。2022(令和4)年度からの新カリキュラムでは、多職種と協働する能力、地域・家族をみる能力の育成を目的として「地域包括ケア実習」を新設し、親子・高齢者・障がい者の地域での生活を支えるための地域包括ケアシステム

について学習しています。

保健師課程の新カリキュラムでは、保健師課程選抜を2年次修了時に行い、保健師必修科目の多くは3年次以降の科目として配置しました。また、演習の時間を増やし、家庭訪問、保健指導、健康教育、地域診断等に取り組んでいます。保健師としての就職を希望する学生には、教員が面接指導等を行うなどサポートをしています。

Research

どのような研究をしていますか？

教員は、これまでの実務経験や教育経験を活かした研究テーマに取り組んでいます。主な研究テーマは、「脳卒中患者の就労支援に関する研究」「子どもを養育する生活困窮世帯への支援技術に関する研究」「訪問看護に関する研究」等です。今後は、地域・在宅看護学領域の教員が共同して研究に取り組みたいと考えています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

看護学部主催の地域住民を対象とした健康相談では、毎年、保健師課程の教員が保健指導を担当しています。また、実習施設からの依頼を受け講義をしています。

今後、近隣の若葉台団地において、新たに地域づくりに向けての連携協定を結ぶ予定です。その窓口は保健師課程の教員が担い、活動していく予定です。

ひとこと

地域の関係機関や住民の皆様とともに、地域の健康づくりに貢献できるように、教育・研究に取り組んでいきたいと思ひます。(山口)

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp